



「教会史」開講

—— 神示教会 今ある姿の真実を知る ——

供丸姫先生が全ての任を果たし、神の世界に戻られた神魂誕生から20年。直使ご生誕、真実の神の降臨からは、75年。今日までの神示教会の歩みは、全てが開運かなう今の時代を迎えるためにありました。今だからこそ、一つ一つの歴史的事実が、なぜ起きたのか、今にどのようなにつながっているのか、その真理がつかめます。

「道を守れば光が通る」自立の時を迎えた今、誰もが神と共に生きれば、悔いのない人生が歩み抜けます。それをかなえるのが、供丸姫先生、供丸齋先生の願いです。今こそ、直使、代神の愛をしっかりとつかんで、開運に向かって歩みを進めていきましょう。

実施日時；令和4年1月～9月 月2回 10:00 (神総本部から全国中継)
担 当；職員

実施日		タイトル
1月	16日(日)	昭和21年11月15日を見詰め直す
	30日(日)	
2月	6日(日)	昭和23年に何が起きたのか
	13日(日)	
3月	13日(日)	供丸齋先生が神から託された使命は ※27日は開始時刻が13:00に変更となります。
	27日(日)*	
4月	10日(日)	代神と直使の出会いの真実を知る
	17日(日)	
5月	8日(日)	神が願われた「聖日」の意味するところ
	21日(土)	
6月	5日(日)	希望の光の完成に向けて最後の神の計らい
	26日(日)	
7月	3日(日)	しんぎよくのさと しんぎよくのその 神玉里、神玉園の完成の意味
	17日(日)	
8月	21日(日)	なぜ神魂誕生が平成14年9月17日なのか
	28日(日)	
9月	4日(日)	9月23日、10月29日、11月15日の意義
	18日(日)	

※日程は、都合により変更する場合があります。